EXHIBITION

Masaru Suzuki　Hiroyuki Seike　Reiko Sudo

「スリー・トーンズ」—3人のデザイナーがつくるテキスタイル空間

2018年3月27日㊋–31日㊏ 11:00–20:00（入場無料） スパイラルガーデン（スパイラル1F）

テキスタイルデザインに於いて、日本を代表する３名のデザイナー、鈴木マサル、清家弘幸、須藤玲子が、2017 年３月 27 日（火）から 31 日（土）の５日間、東京・南青山のスパイラルガーデン（スパイラル 1F）にて、テキスタイルの展覧会「Three Tones　- ３人のデザイナーがつくるテキスタイル空間 -」を開催いたします。
糸と糸が織りなす組織や、加工、染色、プリントなど、３者それぞれのアプローチでデザインされたテキスタイルを空間全体で表現します。会場で、実際に見て、触れて、テキスタイルの魅力をご体感下さい。

オープニング レセプション

日時：2018 年 3 月 27 日（火）18:00 ～ 20:00
会場：スパイラルガーデン（東京都港区南青山 5-6-23　スパイラル 1F）

会期初日の夜、鈴木マサル、清家弘幸、須藤玲子が在廊し、オープニングレセプションを開催致します。
皆さまお誘い合わせの上、ぜひご参加下さい。
尚 18:30 頃より、３名のデザイナーよりご挨拶させていただく予定です。

配信元：デイリープレス　153-0042　東京都目黒区青葉台 3-5-33　川邉ハイツ 1F　tel. 03-6416-3201　info@dailypress.org

【展示コンセプト】

Three Tones「スリー・トーンズ」– 3 人のデザイナーがつくるテキスタイル空間
鈴木マサル、清家弘幸、須藤玲子。世代の異なる 3 人が手がけたテキスタイルの大規模な展示を行います。建築、インテリア空間、ファッション、服飾雑貨などを主たる仕事とする 3 人がデザインしたテキスタイルは、思わず触れてみたくなり、一瞬でその魅力に引き込まれます。本展では、3 人がデザインしたテキスタイル、衣服、服飾雑貨をじっくり鑑賞し体感できるよう、会場構成に工夫をこらしました。より多くの方々に、テキスタイルを視て、触れて、体験していただけたらと思います。さらには、テキスタイル素材とそれを生み出す技術との共鳴を感じ、私たちの思いを共有していただけることを念じています。

須藤玲子

【開催概要】

■ タイトル：Three Tones「スリー・トーンズ」
　　– 3 人のデザイナーがつくるテキスタイル空間
■ 会場　　：スパイラルガーデン（スパイラル 1F）
　　東京都港区南青山 5-6-23　スパイラル 1F
　　http://www.spiral.co.jp/
■ 会期　　：2018 年 3 月 27 日（火）～ 3 月 31 日（土）まで
■ 開館時間：11:00 ～ 20:00
■ 入場料　：無料
■ 主催　　：東京造形大学
■ 協賛　　：荒川技研工業株式会社
■ 協力　　：株式会社 布
■ 空間構成：須藤・清家エリア／柏岡イサク　たしろまさふみ
　　鈴木エリア／有限会社ウンピアット
■ 施工　　：株式会社コムラボ
■ DM デザイン：山本寛デザイン事務所
■ 会場協力：株式会社ワコールアートセンター

地下鉄表参道駅（銀座線・千代田線・半蔵門線）■B1／B3（エレベーター有）出口

【会期中イベント】

■ **オープニングレセプション**
日時：2018 年 3 月 27 日（火）18:00 ～ 20:00　※ 18:30 頃より 3 名のデザイナーよりご挨拶。
会場：スパイラルガーデン（東京都港区南青山 5-6-23　スパイラル 1F）

□ トークセッション
会期中、3 名のデザイナーが登壇するトークセッションを予定しております。内容、日時は決まり次第ご案内したします。

個別取材のご案内

会期初日の 3 月 27 日（火）は終日デザイナーが在廊しております。鈴木マサル、清家弘幸、須藤玲子への個別インタビュ―や撮影なども承りますので、ご希望の際は、下記までお問い合わせ下さい。
スケジュールを調整し、ご対応させていただきます。
※ 施設の都合上、開館時間中は、会場内でのストロボ撮影はご遠慮いただいております。ご了承下さいますようお願いいたします。

■プレス問い合わせ
デイリープレス（担当：山本 真澄）　e-mail. masumiyamamoto@dailypress.org　mob. 090-4062-6361

【デザイナー・展示紹介】

鈴木マサル　Masaru Suzuki

title：「目に見えるもの、すべて色柄」

テキスタイルが持つ様々な魅力の中でも、私は特に色や柄に魅かれています。それらは必ずしもテキスタイルに必要な要素ではありませんが、色柄がある事で人の感情は大きく変化します。私はきっと、そういう「高揚感」に魅かれてテキスタイルを作っているのだと思います。テキスタイルが、色が、柄がもたらす高揚感。是非体感しに来て下さい。

profile

1968 年千葉県船橋市生まれ。多摩美術大学卒業後、ファブリックブランド「OTTAIPNU」を主宰。マリメッコやラプアン カンクリのデザインをはじめ、ユニクロ、カンペールなど国内外のブランドとのコラボレーションを数多く手掛ける。2014 年からスタートした「富山もよう」で第 35 回新聞広告賞を受賞。2016 年に参加したミラノデザインウィークで Milano Design Award 2016 "BEST ENGAGEMENT" を受賞。 2016 年書籍「鈴木マサルのテキスタイル」（誠文堂新光社刊）を上梓。現在、有限会社ウンピアット取締役、東京造形大学教授。

「鈴木マサルのテキスタイル展」三菱地所アルティアム 2018

「鈴木マサルのテキスタイル展」
代官山ガーデンギャラリー 2016

「鈴木マサル傘展 - 持ち歩くテキスタイル -」
スパイラルガーデン 2014

Photo by Akihide Mishima

清家弘幸　Seike Hiroyuki

title：「通路」

テキスタイルは、あいだにあります。テキスタイルは、隙間を内包しています。テキスタイルは、空間をつくります。また、テキスタイルは、服になります。服は、人と人のあいだにあり、人と環境のあいだにあります。服は、内部をつくり、外部をつくります。服は、境をつくり、境をこわします。また、服は、媒体になります。人は裸で生活することはできません。多くの服には着脱のための出入口があります。テキスタイルがつくる通路を服に見立てました。

profile

１９６３年滋賀県大津市生まれ。株式会社前田修デザインスタジオを経て、有限会社セイケ設立。「SEIKE」ブランドで東京コレクションに参加。阪神大震災チャリティーファッションショー参加。東日本大震災復興支援アートオークション出品。滋賀県知事サマーエコスタイルスーツの企画・デザインなど日本各地の織物産地と開発事業を行う。「ISSEY MIYAKE PERMANENTE」、「MARY QUANT」などのデザイン・ディレクションを手掛ける。東京造形大学教授。

No.60-005

No.53-001

No.51-004

Photo by Masayuki Hayashi

須藤玲子　Sudo Reiko

title：「布、色と間」

糸状の素材を組み合わせ組織し、布をつくります。素材には素材の色があります。それらをそのまま使うことに今回は決めました。すると、光を混ぜ合わせたように色は白になりました。布は素材を組む密度も肝心です。それは素材と素材の間であり隙間です。農作業では作物に光、風、水の通り道をつくるため間引きをします。この「間」「隙」「透き」は「鋤き」に通じると言われています。布づくりも農作業に似て「鋤き」を繰り返し、光、風、水を透す「間」をつくる作業のように思います。

Photo by Kosuke Tamura

profile

1953 年茨城県石岡市生まれ。武蔵野美術短期大学専攻科修了後、武蔵野美術大学工芸工業デザイン学科テキスタイル研究室助手を経て、株式会社「布」の設立に参加、現在取締役。2016 年より株式会社 良品計画のアドバイザリーボード。日本の伝統的な染織技術や現代の先端技術を駆使し、テキスタイルづくりをおこなう。作品はニューヨーク近代美術館、ビクトリア＆アルバート美術館、東京国立近代美術館工芸館などに永久保存されている。

Fantasy in Japan Blue　ジョン・F・ケネディ舞台芸術センター
Photo by NUNO

ユーラシアの庭　大分県立美術館（OPAM）
Photo by Satoshi Shigeta

Do You Nuno? 須藤玲子と Nuno の世界
松屋 銀座 7 階　デザインギャラリー 1953
Photo by Nacása & Partners Inc.

【プレスに関するお問い合わせ先】
本件に関するご取材、撮影、画像のお貸し出しなどのお問い合わせは、下記までご連絡下さいますようお願いいたします。
デイリープレス　山本真澄（mobile. 090-4062-6361）e-mail. masumiyamamoto@dailypress.org　tel.03-6416-3201